

# I はじめに

令和3年度、新型コロナウイルス感染症（第4波～第6波）による影響で、東京都においては緊急事態宣言（2回）とまん延防止等重点措置（3回）が発出される中であっても企業に雇用される障害者の人数は伸びを見せ、令和3年6月1日時点の東京労働局集計に見る都内民間企業の障害者雇用総数は21万9千人を超え、実雇用率は前年比0.05ポイント増の2.09%を記録した。その一方で、障害者の新規就職件数は、令和3年6月25日発表の同局集計によると、令和2年度の実績であるが5,624件で、対前年度比マイナス24.7%となり11年ぶりの減少となっていた。

当事業団にあって当該年度は現行事業推進プランの3年目にあたり中間振り返りを行った。事業運営に関しては前年度に引き続き施設内の密を避け、消毒の徹底やアクリル板の設置等により事業団利用者と職員の安全を確保することに努め、必要最小限度の規模の業務縮小にとどめながら各種事業を実施した。また、企業等のオンライン活用が加速する中で、事業団のオンライン環境を整備し、リモートによる企業面接や職場訪問を積極的に行い、就労希望者のモチベーションや自宅待機中の就労者の生活リズムの維持、そしてオンラインによる各種セミナーの実施や在宅での職業準備訓練を実施した。

さらに、利用者の障害特性やニーズに応じた個別支援計画の作成・更新、また職員参加によるOJT研修などの企画、運営を通じて職員の事業企画力の向上や就労支援能力の向上に努めた。

令和3年度を数値で振り返ると、新規の利用登録者が72人と前年度比で27人減少した。新規の就職者は、区から受託している「区市町村障害者就労支援事業」での就職者と都指定事業である「就労移行支援事業」からの就職者を合わせて31人と前年度比で23人減少した。一方で、職場定着率（12ヶ月）は85.2%で目標値（85%）を維持した。

次に、相談支援の総数11,181件のうち、就職後の相談が76.2%を占め、新規の登録者で見ると、就職内定時や就職後に職場定着支援を希望する件数が63.9%であった。これは、ここ数年、増加傾向にある。

また、障害者総合支援法に基づく「就労移行支援事業」の年間の実利用者数は19人で前年度より2人増加し、同事業からの新規就職者数は6人と前年度より1人増加し、就職率は66.7%、定着率（12ヶ月）については80.0%であった。

さらに、障害別に新規登録者や新規就職者、離職者の数値をみると精神障害者の占める割合は依然として高い。新規登録者の54.2%、新規就職者の76.7%、離職者の69.6%が精神障害者であった。

その他の取り組みとして、就労中の利用者向けの各種余暇支援事業の実施、区内企業に対する職場開拓の一環としてアンケート調査の実施、区内関係機関と連携した雇用支援ネットワーク会議の運営等がある。

最後に、ウイズコロナやアフターコロナにおいて障害者（同居家族等を含む）や企業等のニーズの変化を受け止めながら、地域の関係機関とともに各事業に取り組む中で、事業団が地域に貢献する役割の大きさを再認識した。

## II 事業の概要

### 1 事業の構成

定款第4条に定める事業		実施事業 (公益目的事業 ※1)
第1号	就労支援及びこれに伴う日常生活又は社会生活上の支援	主として(※2) 区市町村障害者就労支援事業 【受託事業】
第2号	事業主に対する雇用管理上の相談助言	
第3号	関係情報の提供及び普及啓発	
第4号	地域における人材育成等、障害者就労支援の体制基盤づくりに関する支援	
第5号	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	就労移行支援事業(就労定着支援事業を含む。) 【訓練事業】

※1 平成25年4月1日より東京都から公益法人認定を受けて公益目的事業として実施している。

※2 訓練事業においても、必要に応じて又は受託事業と連携して、第1号～第4号に相当する業務を実施している。

### 2 実施事業

#### (1) 区市町村障害者就労支援事業【受託事業】

東京都の補助事業「区市町村障害者就労支援事業」の実施のために杉並区が定める「杉並区障害者就労支援センター事業実施要綱」に基づいて、区からの事業委託を受けて実施している。

《業務内容》

- ① 利用登録
- ② 就労面の支援
- ③ 生活面の支援
- ④ 地域開拓促進に係る支援
- ⑤ 職業能力、適性の評価
- ⑥ 特別支援学校等との連携
- ⑦ 地域の福祉施設等における一般就労への支援
- ⑧ (区が行う成人期発達障害者の)職業準備プログラムへの協力

## (2) 就労移行支援事業【訓練事業】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業で、東京都から事業者指定を受けて実施している。当事業は、利用実績に応じて給付される訓練等給付金を主たる財源として独立採算の視点を持って運営している。

サービスの種類	指定年月日	設置者	事業所名
就労移行支援事業	平成 24 年 4 月 1 日	公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団	杉並区障害者雇用支援センター
就労定着支援事業	平成 30 年 10 月 1 日		

## 3 推進プラン

事業団の5か年の事業計画として、「ワークサポート杉並・事業推進プラン 2019~2023年度」を平成30年度に策定した。推進プランは、障害者雇用の情勢や区の計画との整合を図りつつ、前「推進プラン」を改定したもので、プラン期間中の事業の方向性と各事業項目（新規11項目、継続・拡充10項目、合計21事業項目）の年次プランを示し、2023年度（令和5年度）までの達成指標と数値目標を掲げている。

- ・推進プラン事業体系表（P16 参照）
- ・推進プランの達成指標（P17 参照）

## 4 事業団の職員構成

(単位：人)

	受託事業	訓練事業	法人管理	合計
事務局長 (常務理事兼任)			1	1
常勤職員	4	2		6
嘱託員	6	3	1	10
パートタイマー	2	1		3
区派遣職員			2	2
合計	12	6	4	22

※人数は事業年度における定数

### Ⅲ 事業実績

#### 1 障害者に対する就労支援及びこれに伴う日常生活又は社会生活上の支援

(第1号事業)

##### (1) 就労相談

###### ① 相談・支援

就職を希望する者及び現に就労している者に対し就労に関する情報を提供し、日常生活面を含めた職業生活を送るための幅広い相談業務を実施した。一方で、就労準備の前段階として区内福祉施設等の利用が望ましい方には施設情報などを利用者のニーズに応じて提供した。当該年度の相談支援件数は、前年度より全体で6,966件、6.6%増加した。相談方法別で見ると電話等の相談が3,966件(うちオンライン205件を含む)、5.2%増加し、訪問等は2,800件、17.8%増加した一方で、来所は前年度の数値とほぼ横ばいであった。

就職時期別では、就職前の相談が3,041件、10.3%減少したが、就職後の相談は1,000件、13.3%増加した。

※( )は前年度実績、以下同じ

◆相談・支援件数 11,181件 (10,485件) 【推進P指標】

方法別内訳	電話等	7,970件	(7,574件)
	来所	1,359件	(1,339件)
	訪問等	1,852件	(1,572件)
対象者別内訳	利用者・家族	9,029件	(8,176件)
	企業・事業所	2,152件	(2,309件)
就職時期別内訳	就職前	2,659件	(2,963件)
	就職後	8,522件	(7,522件)

###### ② 相談時間帯の拡大【推進I①】

前年度に引き続き、定着支援の利用者増加に対応するため相談時間を週2回、19時まで延長して相談体制の充実を図った。

◆平日夜間相談 合計 99回 延べ 267件 平均 2.7件/回

###### ③ 求人情報検索サービスの提供【推進I②】

ハローワーク求人情報提供サービスをリアルタイムで利用できるよう、システムのバージョンアップなど必要な対応を行った。

## (2) 利用者に対する就労・生活支援

在宅や福祉施設に在籍する就労希望の障害者、就業しているが定着支援あるいは転職を希望する障害者などを対象に、就労面及び生活面にわたる支援をハローワークや企業、各支援機関、保健センター等と連携して実施した。

### ① 就職準備・就職活動支援

利用登録を経て、就労準備の理解や求職者登録、求人検索、体験実習の実施、委託訓練の申込み、応募書類作成の助言、面接同行、雇用契約等にかかる就職までの一連の支援を関係機関等と連携しながら実施した。

- ・当該年度の新規登録者は2年連続で100名を割り72名となった。事業団の支援による新規就職者は、前年度より23名減少し31名となった。
- ・年度末累計登録者数は対前年度比3.9%増となった。年度末累積登録者のうち就労者の占める割合は55.3%となっている。

#### 登録者数

- ◆当該年度の新規登録者 72人 (99人) 【推進P指標】
- ◆当該年度の登録抹消者 △24人 (△19人)
- ◆年度末の累積登録者 1,280人 (1,232人)

#### 新規登録者の利用に至る経路別内訳

ハローワーク	10人	(14人)
職業センター	4人	(2人)
特別支援学校	19人	(24人)
福祉サービス事業所	13人	(18人)
福祉事務所等行政	6人	(4人)
直接利用	9人	(15人)
その他(医療機関等)	11人	(22人)

#### 就職者数

- ◆当該年度の新規就職者数※ 31人 (54人) 【推進P指標】  
(※事業団支援による就職者数)
- ◆年度末の就労者数 708人 (705人)

#### 新規就職者の事業別内訳

受託事業就職者数	25人	(49人)
訓練事業就職者数	6人	(5人)

② 生活面の支援

・福祉事務所や保健センター、相談支援事業所等との連携による生活面の支援を就労面の支援と一体的に行った。

・生活スキル向上プログラム【推進Ⅱ⑤】(再掲 P14)

雇用支援センターの独自事業として、就労生活に必要なスキルの向上のため、通所(週2回程度)によるプログラムを実施した(実利用者5名)結果、2名の利用者が企業就労へ移行し、他の利用者も就労継続支援 B 型事業所や委託訓練など状況に合ったサービスへつなげることができた。

◆生活相談件数 7, 3 1 0 件 (6,379 件)

内容別内訳	日常生活相談	3, 8 3 2 件 (3,237 件)
	職業生活相談	3, 2 8 5 件 (2,922 件)
	社会生活相談	1 6 1 件 ( 176 件)
	自己決定相談	3 2 件 ( 44 件)

③ 職場定着支援

・就労中の障害者と家族、企業に対して就労継続にあたって課題解決のための面談、就労先訪問、電話相談等(オンライン 205 件を含む)による支援を実施した。

・当該年度は、定着支援対象者数は前年度の数値とほぼ横ばいで、定着支援件数は 8 7 6 件、1 3. 3 % 増加し、職場定着率(12 ヶ月)は目標の 8 5 % を維持した。

職場定着率等

◆定着支援対象者 7 0 8 人 (705 人) ※①の「年度末の就労者数」に同じ

事業別内訳	受託事業	6 9 4 人 (691 人)
	訓練事業	1 4 人 ( 14 人)

新規登録者のうち定着支援からの利用者	4 6 人 ( 59 人)
(※就職時又は就職後からのサービス利用者)	

◆定着支援件数 7, 1 8 5 件 (6,568 件)

◆職場定着率(12 ヶ月※1) 8 5. 2 % ( 87.7%) 【推進 P 指標】

※1 前年度就職者のうち就職後 12 ヶ月経過時の就労継続者の率

◆職場定着率(24 ヶ月※2) 7 6. 5 % ( 60.3%)

※2 前々年度就職者のうち就職後 24 ヶ月経過時の就労継続者の率

◆職場定着率(36 ヶ月※3) 4 9. 2 % ( 58.2%)

※3 前々々年度就職者のうち就職後 36 ヶ月経過時の就労継続者の率

#### ④ 余暇支援

##### ・ワクサポ広場（定期）

就職後の不安や悩みの解消、ビジネスマナーの再学習、働く障害者の余暇の充実を目的とした余暇支援事業である「ワクサポ広場」を、就労継続中の障害者を対象に月2回（原則として第1・3金曜日オフタイム）、会場が密にならないよう2グループに分け、開催時間も短縮して実施した。

◇ ワクサポ広場 288人 [20回] ※(75人)

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止の回あり

##### ・交流会（不定期）

就労継続中の知的障害者、精神・発達障害者、発達障害者本人と家族を対象にした「交流会」をそれぞれ実施した。

◇ 交流会（知的障害者向け） 95人 [2回] （なし）

◇ 交流会（精神・発達障害者向け） 33人 [2回] （なし）

◇ 本人・家族交流会（発達障害者向け） 10人 [1回] （なし）

##### ・パソコン講習会

事業団の利用登録者でパソコンのスキル向上を目指す者に対して、パソコン講習会を実施した。

◇ パソコン講習会 33人 [6回] (29人)

◆余暇支援合計参加者数 459人 [31回] (104人)

#### ⑤ 就職準備フェアの開催（杉並区・新宿区・中野区3事業団合同）

就職準備講座や企業担当者及び就労者からの生の声を聴く機会は設けられなかったため代替として、「企業で働く方からのメッセージ」のDVDを作成し、各施設へ配付した。

### (3) 職場体験機会の提供

#### ① 職場体験実習

区内の福祉施設利用者や地域の在宅者等で就職を希望する障害者が仕事への自信を持ち、就職への意欲を高められるように、企業開拓した企業や区役所等での職場体験実習を区の体験実習要綱に基づいて実施した。

##### ・企業見学会と企業等体験実習の充実

当該年度、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業見学会は中止したが、企業就労の経験がない就労継続B型事業所利用者等が体験実習を行った。

◆職場体験実習 28人 (15人)

職場体験実習(杉並区内事業所)一覧・・・支援実績別表1(P18)

② 特別支援学校等実習受け入れ

就労移行支援事業では、特別支援学校等からの希望により実習生を受け入れ、実習を通して職業能力・適性の把握、職業意識・就労意欲の向上を図った。

◆特別支援学校等実習受入 10人 (10人)

特別支援学校等生徒の実習・体験学習(事業団受入)一覧

・・・支援実績別表2(P18-19)

#### (4) 職業適性の評価・アセスメント

① 職業評価

支援機関及び相談者本人から依頼を受け、本人の職業適性や就労準備性の状況を把握し、支援計画を作成、実施するために、事業団において職業評価を行った。また、その後評価結果についての振り返りを行うことで就労活動に活用した。

◆職業評価実施人数(作業評価) 7人 (6人)

(一般職業適性検査) 2人 (1人)

② 就労アセスメント

障害者雇用支援センターでは、区の依頼により特別支援学校在校生等を対象とする「就労系福祉サービスの利用に係る職業評価」を実施した。

◆就労系福祉サービスの利用に係る職業評価 3人 (2人)

③ アセスメントシート等の開発【推進I②】

パソコンの操作入力作業に自信のない利用者を対象に基本的スキルの程度をアセスメントし、利用者自身の就労活動等に活用するため、パソコン・スキルチェックのツールを検討の上、実施した。

◆パソコン・スキルチェック 2人 (ー)

## 2 事業主に対する雇用管理に関する事項についての相談助言等の支援

(第2号事業)

### (1) 情報の提供

① 企業向けパンフレット等の配付

新規の企業開拓及び企業実習の開拓、地域の事業主等関係機関への啓発活動を目的に、企業向けパンフレット等を随時配付し、障害特性や障害者雇用等の理解を得るための資料とした。

② 個別企業相談

障害者を雇用している、又は雇用する意向のある事業主に対し、障害者の雇用・職場定着に関する助言や仕事の切り出し、雇用職場の環境整備、その他の助言・援助を行った。

◆相談件数 第1号事業（1）に記載

◆訪問社数 第3号事業（4）に記載

(2) 企業向けセミナー等の開催

障害者雇用への理解を深めることを目的に主に事業主や人事担当者等に向けて、セミナーを開催し、障害者雇用の促進と就業障害者の職場定着を図った。

◆企業向けセミナー 1回開催 . . . 支援実績別表3-4(P20)

3 障害者就労に関する情報の収集提供及び普及啓発（第3号事業）

(1) 広報活動

① 「ワークサポート杉並だより」

事業団の活動状況等を紹介する広報誌「ワークサポート杉並だより」を発行し、タイムリーな情報の提供に努めた。

◆発行部数 1,300部/回 年4回発行

② 事業団ホームページ

- ・障害者と企業担当者等に向けて、事業団の活動内容、活動状況を紹介した。
- ・各種セミナーや就職相談会の紹介等、イベント情報を提供した。
- ・「就職者のブログ」コーナーを新設し、また「会報（ワークサポート杉並だより）」アーカイブページを提供した。
- ・事業団の情報開示として、事業計画書・収支予算書、事業報告書・決算書等の資料を掲出した。

③ その他普及啓発

「杉並区障害者週間事業」のイベントに参加し、事業団活動や障害者の雇用促進について普及啓発を行った。

◆地域イベント参加一覧 . . . 支援実績別表4(P20)

④ 職員の講師派遣

関係機関等で実施されるセミナーの講師として職員を派遣し、事業団事業の説明や都・区内の障害者雇用の現状、職業準備性の向上などの雇用支援に係る情報を提供した。

## (2) セミナー等の開催

障害者やその家族、就労継続支援B型事業所や相談支援事業所などの関係職員、企業の社員等が障害者の一般就労について考える機会を提供し、障害者雇用に係る普及啓発を行った。また、事業団の活動内容を紹介した。

### ・若年層を対象としたコミュニケーション講座 【推進Ⅱ②】

杉並区就労支援センター(すぎ JOB)と共催で、日頃から対人コミュニケーションに自信のない利用者を対象に自己分析や自己PRの作成などを行った。

◆セミナー等開催一覧 . . . [支援実績別表 3-1~5 \(P19-20\)](#)

## (3) 就労情報の収集

公共職業安定所や民間の就職支援事業所から就労情報の収集を行うとともに、同所の提供する求人情報をオンラインでリアルタイムに受ける環境を整備〔第1号事業に記載〕した。新宿公共職業安定所、中野区障害者福祉事業団、新宿区勤労者・仕事支援センター、中野特別支援学校等と情報交換を行い、就職と実習の受入を希望する企業情報を収集した。

また、広域の就労支援機関連絡会等に積極的に参加し、意見交換や就労等の情報の収集を行った。

## (4) 障害者就労に関する調査・研究

### ① 職場開拓の調査・研究

担当制による開拓作業を実施したほか、職場訪問の情報を月に2回開催している職員ミーティングで報告し、開拓方法等を検討した。また、発達障害者の就労準備等の支援を行う専門機関を訪問し収集した効果的な支援方法について研究した。

### ② 区内企業の職場開拓

東京労働局への相談に基づき、「ハローワーク新宿管内の民間企業の障害者雇用状況報告提出企業一覧」に記載のある企業のうち、杉並区に所在地のある企業(241社)に事業団及び障害者雇用に関するパンフレット等を配付するとともに障害者雇用(短時間含む)に関するアンケートを送付し、職場実習先の開拓につなげた。

◆職場開拓訪問企業社数 区内 6社 【推進P指標】  
(区外 12社)

【参考】「中小企業障害者雇用応援連携事業」東京しごと財団

東京都の外郭団体「東京しごと財団」では、都内の障害者就業・生活支援センターと連携して、障害者雇用を進めていく必要のある中小企業に対して、個別訪問による制度説明や雇用前後のフォローアップ提案等の事業を行っている。

③ 短時間雇用の検討 【推進 I ⑦】

- ・上記②「区内企業の職場開拓」に合わせて検討、実施した。
- ・当該年度は利用者の希望と状況に応じて、ハローワーク求人の検索、これまで取り引きのある企業へのアプローチなどを通じて、短時間の就労・雇用の推進に努めた。

◆短時間新規就職者数 7人 (13人)

④ 利用者等を対象とした調査・研究

- ・新規登録者に対するアンケート

当該年度の新規登録者を対象に、有効な支援を提供できたか、今後どのような支援を希望するか等について顧客満足度調査を実施した。

実施方法：半期ごとに新規登録者を集計し調査票を送付

送付数 上半期 30件

下半期 42件

◆回収数 上半期 12件 (回収率40%)

下半期 1件 (回収率1%)

※数値は令和4年3月末現在

## 4 地域における人材育成等、障害者就労支援の体制基盤づくりに関する支援

### (第4号事業)

#### (1) 区内福祉施設等における就労促進への支援

① 区内福祉施設

区内福祉施設等に在籍している障害者の一般就労を促進するため、各施設等を定期的に訪問し、施設職員と連携して企業等への就労に向けた支援を実施した。また、企業担当者を講師に招き施設職員を対象とした就労支援講座を1回実施した。

さらに、就労情報を希望する10施設にハローワーク等の求人情報などを計559回、リアルタイムで提供した。

② 特別支援学校

- ・特別支援学校の卒業前に行う企業実習期間において、職場訪問等に事業団職員が同行したり、入社前オンライン面談に参加するなどして連携を強化した。

- ・特別支援学校を訪問して在校時からの連携強化に努めた。

### ③ すぎ JOB 等

杉並区就労支援センター（すぎ JOB・すぎトレ）等を定期的に訪問し、事業説明を行うなど事業団の周知と新たな利用者の確保に努めた。

◆施設等訪問	延べ	39件	(40件)
◆特別支援学校への協力	延べ	13件	(16件)
◆杉並区就労支援センター説明会	延べ	2回	(3回)

## (2) 区内関係機関等ネットワークを活用した支援

### ① 雇用支援ネットワーク会議の開催

障害者の就職及び職場定着のための支援を地域で効果的に行うため、区内の作業所、相談支援事業所、公共職業安定所、特別支援学校等に所属する職員で構成された実務担当者による雇用支援ネットワーク会議を月例で開催した。

また、障害者の就職活動の支援に必要な着眼点や技法を学ぶために、事例検討・企業担当者による講話・研修等を実施し、地域の支援力のスキルアップに努めた。

#### ◆実務担当者会 11回（企業見学会は中止）

雇用支援ネットワーク会議開催一覧・・・支援実績別表 5 (P21)

### ② 地域の相談支援機関との連携の強化 【推進Ⅲ⑤】

- ・具体的なケースを通じて、障害者地域相談支援センター及び特定相談支援事業所と積極的に情報や課題の共有、連携を図った。
- ・困難ケースに関してすまいる、保健センター、基幹相談などの各関係機関と関係者会議を行い、役割分担をしながら支援を行った。

### ③ 医療機関等との連携の強化 【推進Ⅲ⑥】

- ・杉並区地域生活支援担当が主催する「高次脳機能障害者関係機関連絡会」及び「同セミナー」に随時参加するなど、定期的に連携を図った。
- ・医療機関連携スキル向上研修に参加し、ロールプレイやディスカッションなどの講義を通じて、連携方法について実践的に学んだ。
- ・就労に向けて本人の状況を把握するために、都立松沢病院の医師、医療連携室のケースワーカー、本人も含めてケース会議を行った。

### ④ 支援困難ケースへの対応力の強化 【推進Ⅲ⑧】

- ・使用者による虐待疑いのあるケース（2件）、利用者からのメール案件（2件）に関して、区担当部署への連絡・相談やハローワークへの相談、生活相談支援機関との連携を行った。また、事業団内部にケースごとに検討チームを設け、職場定着支

援業務の中で支援困難ケースの対応にあたりとともに事業団職員全体でケース共有を行い支援力の底上げに努めた。

### (3) 研修会への参加及び実施

#### ① 支援員研修・OJT研修（事業団主催）

事業団や区内作業所等における就労支援機能強化と支援担当職員のレベルアップを目的に、雇用支援ネットワーク会議における地域の支援者向けセミナー等を通じて他の障害者就労支援機関等や障害者雇用を進めている企業の取り組み事例などを学んだ。

◆参加者 延べ 140人

#### ② 支援員研修（他機関主催）

効果的効率的な就労支援を行うため、東京障害者職業センター等が実施する職業リハビリテーションに係る情報の提供及び相談、ネットワークの技法、その他障害の特性の理解とその援助の方法についての専門的研修に職員を参加させた。

その他、関係機関・団体の主催する研修等に職員を参加させ、障害の特性や権利擁護、障害者虐待防止、福祉・労働関係法制度等に関する知識の習得を行った。

◆参加職員 延べ 40人

## 5 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業（第5号事業）

事業所 杉並区障害者雇用支援センター

### (1) 就労移行支援事業の実施【訓練事業】

#### ① 利用対象者の安定的確保

区内の福祉施設、福祉事務所、特別支援学校、保健センター、中部総合精神保健福祉センター、杉並区主催の障害者通所施設入所調整会議等との情報交換を通じて、企業等での一般就労の意向がある障害者で、職業準備性の訓練を必要とする就労移行支援事業利用対象者の把握に努めた。また、見学や実習の受け入れ等により利用者の安定的確保に努めた。

利用定員は20名で、杉並区等から当該サービスの支給決定を受けた方を利用対象者とした。

#### ② 訓練プログラムの実施

一般就労希望の障害者が、就労に必要な知識・能力と働くことへの意欲の向上を図るため、又、就職後は安定した職業生活をおくることのできるような訓練プログ

ラムを実施した。

具体的には障害者の特性と一般企業が求める障害者雇用での業務内容とをマッチングさせるために必要な訓練プログラムを開発し、障害者雇用で求めるビジネスマナー研修、コミュニケーショントレーニング、パソコン訓練、区内企業・事業所での清掃及び接客訓練などのプログラムを導入することで、より多様で実践的な職業準備訓練を実施した。

また、当該年度途中から VR（バーチャル・リアリティー）を導入し、映像により職場で起こりうる状況や対人スキルを再現することで、対応等を学ぶプログラムを新たに導入した。利用者からも具体的な状況で学ぶことができ良かったとの感想を得ており、引き続き内容を更新しながら実施する。

さらに、利用者の特性、就職に向けた能力の向上などの評価を3カ月ごとに行うとともに、利用者の適性を踏まえた職場開拓に力を注いだ。

その他、当該年度は、具体的に次のプログラム等を実施した。

・生活スキル向上プログラム【推進Ⅱ⑤】（再掲P6）

雇用支援センターの独自事業として、就労生活に必要なスキルの向上のため、通所（週2回程度）によるプログラムを実施した（実利用者5名）結果、2名の利用者が企業就労へ移行し、他の利用者も就労継続支援 B 型事業所や委託訓練など状況に合ったサービスへつなげることができた。

・就職者によるピアサポートの実施【推進Ⅱ③】

雇用支援センターを利用して就職した元訓練生1名を招き、現在訓練中の利用者に対して就労までの具体的な体験や就労後の職場での経験を講話してもらい、又、講話後は、訓練生の相談にも乗ってもらうことを通じて現訓練生の就労準備に対するモチベーションを高めることができた。

・発達障害者支援プログラム

今年度から導入した VR 映像を活用し、発達障害の方が持ちづらいイメージを疑似体験化し、ビジネスマナーなど社会性向上に寄与した。

・区内就労移行支援事業情報連絡会の実施

支援員のスキル向上、福祉サービスの向上を地域全体で目指すため、区内の就労移行支援事業所（計7所）での情報連絡会を2回実施した。

③ 第三者評価

サービス向上と利用希望者の事業所選択に資するため、3年ごとに福祉サービス第三者評価を受審している。当該年度は受審を行っており、評価結果は事業団ホームページから閲覧できるよう提供している。

◆訓練事業からの就職状況

(ア) 就労移行支援事業 当該年度就職者状況 (単位：人)

	知的障害	精神障害	発達障害	合計
就職者数	3	1	2	6

(イ) 利用者（契約者）数、就職者数 [利用定員20人] (単位：人)

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用者数	28	23	21	17	19
就職者数	10	10	10	5	6

(ウ) 就職率、定着率（12ヶ月経過） (単位：％)

	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度
就職率※ 【推進P指標】	76.9	76.9	90.9	57.1	66.7
定着率※	83.3	90.0	80.0	90.0	80.0

※就職率：当該年度中に就労移行支援事業の利用を終了した者のうち就職した者の割合

※定着率：前年度の就職者のうち、就職から12ヶ月経過時点で就労を継続している者の割合

(2) 就労定着支援事業【訓練事業】【推進I③】

就労移行支援事業所等から就職し、就職後6ヶ月を経過した者で、行政から当該サービスの支給決定を受けた方を対象に、最長で3年間、原則月1回以上の職場訪問による面談等を行い、就労及び生活上の課題について企業、家族、関係機関との連携・調整を行うことにより、就労の安定的な継続を図っている。平成30年10月より事業を開始している。

(ア) 就労定着支援事業 当該年度利用者状況 (単位：人)

	知的障害	精神障害	発達障害	合計
利用者数	9	2	3	14

(イ) 利用者（契約者）数 (単位：人)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用者数	13	18	14	14

## 6 推進プラン 「ワークサポート杉並・事業推進プラン 2019~2023」

(定款第4条  
の該当号数)

### (1) 推進プラン事業体系表

I 切れ目から職 場定着まで の支援	相談環境の整備と 相談機能の充実	① 相談時間帯の拡大【新規】	1号
		② 求人情報検索やアセスメントシート等を活用した相談の 充実【新規】	1号
	安定して働き続け られるための支援	③ 就労定着支援事業の充実【新規】	5号
		④ 就職している知的障害者及び精神・発達障害者の余暇活 動支援の充実	1号
		⑤ 本人・家族向けセミナーの充実と家族交流会の実施	3号
	多様な働き方ので きる職場の開拓	⑥ 区内企業の職場開拓	3号
		⑦ 短時間就労に向けた取り組みの強化【新規】	3号
II 働くための能 力の向上を支援	発達障害者に対す る支援の強化	① 発達障害者支援プログラムの実施	5号
		② 若年層を対象にしたコミュニケーション講座の実施 【新規】	3号
	就労移行支援事業 の充実	③ 就職者によるピアサポートの実施【新規】	5号
		④ 施設外活動の利用による訓練プログラムの実施【新規】	5号
	働くために必要な 生活力の向上	⑤ 生活スキル向上プログラムの実施【新規】	1号
		⑥ 本人・家族向けセミナーの充実と家族交流会の実施 【I⑤の再掲】	3号
III 関係機関等との連 携による支援 力の強化	区内福祉施設への 支援・連携の促進	① 施設指導員の就労支援活動をサポート	4号
		② 企業見学会と企業等体験実習の充実	1号
	特別支援学校との 連携の強化	③ 就職する特別支援学校生徒に対する職場定着支援の充実	4号
		④ 特別支援学校の生徒・保護者に対する支援の充実	4号
	関係機関との連携 強化	⑤ 地域における相談支援機関との連携の強化【新規】	4号
		⑥ 医療機関等との連携の強化【新規】	4号
		⑦ ネットワーク機能を活用した支援体制づくり	4号
		⑧ 支援困難ケースへの対応力の向上【新規】	4号

(2) 推進プランの達成指標 (数値目標)

	R2 年度実績	R3 年度実績	R4 年度目標 (事業計画)	R5 年度目標 (推進プラン)
① 就職者数 ※1	54 人	<b>31 人</b>	80 人	90 人
② 職場定着率 ※2	87.7%	<b>85.2%</b>	85.0%	85%
③ 新規登録者数	99 人	<b>72 人</b>	100 人	100 人
④ 相談件数 ※3	10,485 件	<b>11,181 件</b>	11,300 件	13,000 件
⑤ 区内企業訪問社数	10 社	<b>6 社</b>	60 社	60 社
⑥ 就労移行支援事業利用者就職率 ※4	57.1%	<b>66.7%</b>	85.0%	85%

※1 就職者数

事業団の登録者であって、当該年度中に一般企業等へ就職した人数

※2 職場定着率

事業団の就労定着支援の対象者で、前年度の4月1日～3月31日の間に一般企業等へ就職した者のうち、12ヶ月経過時点で就労を継続している者の割合

※3 相談件数

電話、来所、訪問等で就労相談を受けた延べ件数

※4 就労移行支援事業利用者就職率

当該年度の4月1日～3月31日の間に就労移行支援事業の利用を終了した者のうち、一般企業等へ就職した者の割合

## 7 支援実績別表

別表1 職場体験実習（杉並区内事業所）

	実習場所	実習内容	実習の時期	実習者数
体験型	コモン計画研究所	PC入力、事務補助等	6～7月、 8月（2人）、9月 （各3日間）	4人
	区役所	封入、丁合、シール貼り、スタンプ押し、チラシの仕分け等の軽作業	7月（2人）、 10月、11月、 11～12月、 2～3月 （1・3・4日間）	6人
	中央図書館	本の返却、スタンプ押し等の軽作業	9月（1日間）	1人
	ゆうゆう館	受付、部屋の消毒作業・清掃	10月（3日間）	1人
	JA東京中央	農園での収穫、除草等	11月（2人）、 12月（2人） （各5・2日間）	4人
	スギコーデイサロン荻窪	食器洗浄、軽作業	11月（1日間）	1人
実践型	中央図書館	本の返却、スタンプ押し等の軽作業	7月（5日間）	1人
	杉並区社会福祉協議会	宛名シール貼り、会報 発送業務の軽作業等	7月、8～9月、 10～11月、1月、 2～3月 （各5日間）	5人
	区役所	封入、丁合、シール貼り、スタンプ押し、チラシの仕分け等の軽作業	8月、12月 （各5・10日間）	2人
	コモン計画研究所	PC入力、事務補助等	9～10月、12月 （各19・10日間）	2人
チャレンジ型	区役所	封入、丁合、テーブル拭き、シール貼り、スタンプ押し、リーフレットの仕分け等の軽作業	3月（12日間）	1人

別表2 特別支援学校等生徒の実習・体験学習（事業団受入）

学校	学年	実習時期	実習者数
中野特別支援学校	2年生	7月1日～2日（3人）	3人
中野特別支援学校	3年生	7月6日～8日（1人）	1人
大宮中学校（特別支援学級）	3年生	9月6日～10日（1人） 9月13日～17日（1人） 10月18日～22日（1人）	3人

練馬特別支援学校	3年生	9月21日～22日、24日、27日～28日(1人)	1人
中野特別支援学校	3年生	12月6日～10日(1人)	1人
中野特別支援学校	3年生	1月27日～28日、1月31日～2月2日(2人)	2人

別表3-1 若年層を対象にしたコミュニケーション講座

実施日	① 令和3年7月1日(木) ② 令和4年2月1日(火)
対象者	ワークサポート杉並及び杉並区就労支援センター利用者
場 所	ウェルファーム杉並 セミナー室
テーマ・内容	「自己理解プログラム体験」自己分析、自己PRの作成
講 師	パーソルサンクス(株) サポート本部人事部人財開発室/人材支援室 マネージャー
参加者	① 7人 ② 9人

別表3-2 地域の支援者向けセミナー(雇用支援ネットワーク会議)

実施日	① 令和3年9月14日(火) ② 令和4年1月11日(火)
対象者	障害者通所施設職員、相談支援事業所職員、関係職員
場 所	ワークサポート杉並 会議室
テーマ・内容	① 就労タイムラインにおける課題とその対応 ② 障害者雇用の取り組み
講 師	① ソランピュア(株)事業推進部部长 ② まいばすけっと(株)人事総務部ダイバーシティ推進担当
参加者	① 20人 ② 21人

別表3-3 家族向けセミナー・交流会

実施日	令和4年3月9日(水)
対象者	就労を考えている障害のある方の家族、障害者施設などの関係機関の職員
場 所	ワークサポート杉並 会議室
テーマ・内容	障害のある子の家族が知っておきたい「親なきあと」～「親あるあいだ」の準備(障害のある人の「親なきあと」～お金と住まいと暮らし方)
講 師	渡部行政書士事務所「親なきあと」相談室主宰
参加者	26人

別表 3-4 企業向けセミナー

実施日	令和3年6月29日(金)
対象者	事業主、人事担当者、障害者施設等の関係職員
場 所	事業団会議室 Zoomによるリモート配信
テーマ ・内容	第一部 特別支援学級の取り組みと展望について ・講演 第二部 参加者による意見交換
講 師	東京都教育庁指導部 特別支援教育推進室 就労支援員
参加企業	9社

別表 3-5 ワークサポートセミナー(区民向けセミナー)

実施日	令和4年2月18日(金)
対象者	杉並区内在住の方、企業就労を考えている障害のある方、障害のある方のご家族、障害者施設等の関係職員、人事担当者
場 所	ワークサポート杉並会議室(撮影協力コミュニティ・プラットホーム・あだち)
テーマ ・内容	「コロナ禍における社会状況の変化と今後の障害者雇用について」 第一部 コロナ禍における社会状況の変化と障害者雇用について ・講演 第二部 注目の特例子会社パーソルサンクス株式会社 代表取締役社長に聴く障害者雇用の将来展望・人材支援室について ・対談 ・セミナーの様様を録画し、後日、You Tube による動画配信
講 師	パーソルサンクス(株) サポート本部人事部人財開発室/人材支援室 マネージャー
対談者	パーソルサンクス(株) 代表取締役社長 (公財)杉並区障害者雇用支援事業団 常務理事

別表 4 地域イベント参加一覧

実施日	イベント名	会 場	内 容
—	福社会館 まつり	障害者福祉 会館	(中止)
11月29日(月) ～ 12月3日(金)	杉並区障害者 週間事業	区役所	・障害者団体・施設紹介映像(スライド) の投影など
—	地域美化事業 支援活動 (清掃実習)	下高井戸 八幡神社	(中止)

別表5 雇用支援ネットワーク会議（実務担当者会11回・企業見学会を含む中止1回）

令和3年度の実施目標		「支援体制づくりと支援力の強化」	
回数	日程	内容	備考
第1回	4月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介 ・「職場実習事業」等の説明について</li> <li>「ハローワーク求人票」等の送信希望の確認について</li> <li>令和3年度実施計画について</li> <li>各施設・機関の事業実施状況について</li> <li>近況報告・連絡事項</li> </ul>	25名
第2回	5月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規参加団体の事業内容等の説明</li> <li>各施設・機関の障害者就労支援状況などについて</li> <li>近況報告・連絡事項</li> </ul>	25名
第3回	6月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内の社会資源について</li> <li>外部講師による研修①の検討について</li> <li>近況報告・連絡事項</li> </ul>	20名
第4回	7月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者雇用対策の現状とハローワークの支援について</li> <li>新規参加団体の事業内容等の説明</li> <li>外部講師による研修①の検討について</li> <li>近況報告・連絡事項</li> </ul>	20名
第5回	8月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>農福連携農園（すぎのこ農園）/職場実習事業見学会</li> <li>近況報告・連絡事項</li> </ul>	16名
第6回	9月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソランピュア(株)事業推進部長による講話「就労タイムラインにおける課題とその対応」の実施（研修）</li> <li>近況報告・連絡事項</li> </ul>	20名
第7回	10月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討会①「関係機関と連携・対応した困難支援ケース/職場定着（ワークサポート杉並）」</li> <li>外部講師による研修②の検討について</li> <li>近況報告・連絡事項</li> </ul>	19名
第8回	11月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討会②「就労目的で安定した通所のために関係機関と連携したケースについて（工房ラルゴ）」</li> <li>外部講師による研修②の検討について</li> <li>企業見学会の検討について</li> <li>近況報告・連絡事項</li> </ul>	16名
第9回	12月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討会③「中野特別支援学校の進路指導の取り組みと事例」</li> <li>外部講師による研修②の実施について</li> <li>企業見学会（R4.2.18(金)14:00～16:00）の実施予定について</li> <li>近況報告・連絡事項</li> </ul>	18名
第10回	1月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>杉並区総務部人事課による「令和4年度 会計年度任用職員（短時間・障害者）の採用」について（説明）</li> <li>まいばすけっと(株)人事総務部ダイバーシティ推進担当による講話「障害者雇用の取り組み」について（研修）</li> <li>企業見学会（R4.2.18(金)14:00～16:00）の実施について</li> </ul>	21名
第11回	2月	(新型コロナウイルス感染症の影響により、企業見学会中止)	—
第12回	3月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の振り返りについて</li> <li>令和4年度の取り組みについて</li> <li>近況報告・連絡事項</li> </ul>	16名

## IV 事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。